

GO VITAL.

MTG

第28回 定時株主総会
招集ご通知

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当事業年度におきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響の緩和により社会経済活動の正常化が進む一方、世界的な資源価格の高騰、急速な為替相場の変動、そして地政学的にも不安定な厳しい経営環境の中、ReFaブランドが売上をけん引し、全社売上は過去最高の601億円、前年比+23%の高成長を実現し、営業及び経常利益も増益を達成いたしました。

特に、ReFaブランドは、ヘアケア、またファインバブルシャワーの人気商品が更に販売を伸ばし、過去最高売上となりました。2019年に発売を開始したヘアケアシリーズは、美容サロンで人気のヘアアイロンが2022年12月に累計出荷本数100万本を突破、幅広いお客様にご好評のハートブラシをはじめとするヘアブラシも2023年3月に累計出荷本数100万本を達成するなど、発売から4年で大きく成長を果たしました。

MTGの継続的な高成長は、ブランド開発システムによる新商品を継続的に生み出す開発力と、美容サロン、Eコマースや百貨店など多彩な販路における商品の販売力、この2つの相乗効果を生み出す独自の仕組みにより支えられています。2023年9月期は、開発体制を更に強化、商品開発のスピードや品質の向上を図り、また新たな販路の開拓や会員数を継続的に拡大することにより高成長を持續してまいりました。

MTGはこれまで企業理念「一人ひかる、皆ひかる、何もかもひかる」を掲げ、事業ビジョンである「VITAL LIFE」世界中の人々の健康で美しく生き生きとした人生の実現を目指し成長してまいりました。今後もMTGは、ReFaやSIXPADを中心に新商品開発とブランド価値を高める投資を継続するとともに、MTGグループ社員に人的資本投資を積極的に行い、社員一人ひとりが輝くことにより、更なる高成長を実現してまいります。

これからも、MTGグループは企業理念と事業ビジョンの実現へ一丸となって取組み、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 松下 剛

企業理念

一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる

One shines, We shine, All shines

【一人ひかる：社員・会社】

社員一人ひとりが夢を持ち、光り輝く。
社員同士が夢や苦楽を共有し、切磋琢磨する。
そうすることでMTGはさらに成長していきます。

【皆ひかる：パートナー・お客様】

MTGは革新的なブランドを共に生み出し届けるパートナーと共に高め合い、栄えていきます。
そしてお客様の人生をも輝かせていきます。

【何もかもひかる：業界・世の中】

その結果、地域社会・業界・世の中に広く貢献し、
関わる全てを光り輝かせていきます。

目次

株主の皆さまへ	1
企業理念	2
第28回定時株主総会招集ご通知	4
議決権行使のご案内	6
株主総会参考書類	
第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件 ...	8
第2号議案 監査等委員である取締役1名選任の件	12
事業報告	
① 企業集団の現況	19
② 会社の現況	34
③ 剰余金の配当等の決定に関する方針	40
連結計算書類	
連結貸借対照表	41
連結損益計算書	42
計算書類	
貸借対照表	43
損益計算書	44
監査報告	
連結計算書類に係る会計監査報告	45
計算書類に係る会計監査報告	47
監査等委員会の監査報告	49

株主各位

証券コード 7806
2023年12月6日
(電子提供措置の開始日 2023年11月29日)

愛知県名古屋市中村区本陣通二丁目32番
MTG HIKARIビル

株式会社 MTG
代表取締役社長 松下 剛

第28回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第28回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトに掲載しております。

いずれかのウェブサイトにアクセスの上、ご確認下さいますようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://www.mtg.gr.jp/ir/stock/meeting.html>

株主総会資料掲載ウェブサイト

<https://d.sokai.jp/7806/teiji/>

東京証券取引所ウェブサイト

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



(上記の東京証券取引所ウェブサイトアクセスいただく場合は、「銘柄名(会社名)」に「MTG」、または「コード」に当社証券コード「7806」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択の上、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご覧下さい。)

なお、当日ご出席されない場合は、インターネット等または書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討の上、2023年12月20日(水曜日)午後5時45分までに議決権をご行使下さいますようお願い申し上げます。

敬具

招集ご通知

参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

記

1. 日 時 **2023年12月21日**（木曜日）午後**1時**（受付開始 午後0時）
（開始時間が例年より変更となっておりますのでご注意ください。）
2. 場 所 愛知県名古屋市長区葵3-16-16
ホテルメルパルク名古屋2階 瑞雲の間
（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照いただき、お間違えないようご注意ください。）
3. 目的事項
- | | |
|------|--|
| 報告事項 | 1. 第28期（2022年10月1日から2023年9月30日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第28期（2022年10月1日から2023年9月30日まで）
計算書類報告の件 |
| 決議事項 | 第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件
第2号議案 監査等委員である取締役1名選任の件 |

以上

- ◎株主総会にご出席の株主様へのお土産のご用意はございません。
- ◎当日ご出席の際は、お手数ながら本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さいますようお願い申し上げます。
- ◎本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、株主様に対して交付する書面には記載していません。当該書面は、監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査をした対象書類の一部であります。
- 【事業報告】 新株予約権等の状況、会計監査人の状況及び業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況の概要
- 【連結計算書類】 連結株主資本等変動計算書及び連結注記表
- 【計算書類】 株主資本等変動計算書及び個別注記表
- ◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社ウェブサイト、株主総会資料掲載ウェブサイト及び東証のウェブサイトにてその旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載させていただきます。

議決権行使のご案内

議決権は、以下の3つの方法により行使いただくことができます。



インターネット等による議決権行使の場合

議決権行使期限：**2023年12月20日**（水曜日）**午後5時45分入力完了分**まで受け付けいたします。

QRコードを読み取る方法「スマート行使」

議決権行使コード及びパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取って下さい。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力下さい。



「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

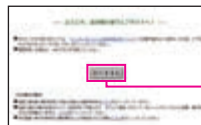
議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。
※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できます。

インターネット等による議決権行使でパソコンやスマートフォンの操作方法などがご不明な場合は、右記にお問い合わせ下さい。

議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスして下さい。



「次へすすむ」をクリック

- 2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力下さい。



「議決権行使コード」を入力

「ログイン」をクリック

- 3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力下さい。



「パスワード」を入力

実際にご使用になる新しいパスワードを設定して下さい

「登録」をクリック

- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力下さい。

※操作画面はイメージです。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル
電話番号：0120-652-031（フリーダイヤル）
（受付時間 9:00～21:00）

当日の報告事項等の動画は2023年12月21日以降当社ウェブサイトからご覧いただけます。 <https://www.mtg.gr.jp/ir/stock/meeting.html>

議決権電子行使プラットフォームのご利用について

機関投資家の皆様に関しましては、株式会社ICJの運営する「議決権電子行使プラットフォーム」から電磁的方法による議決権行使を行っていただくことも可能です。



株主総会にご出席される場合

本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さい。
また、議事資料として、本冊子をご持参下さいますようお願い申し上げます。

日 時：2023年12月21日（木曜日）午後1時（受付開始：午後0時）

場 所：ホテルメルパルク名古屋2階 瑞雲の間

愛知県名古屋市東区葵3-16-16

（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照下さい。）



書面（郵送）による議決権行使の場合

本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、
折り返しご送付下さいますようお願い申し上げます。

行使期限：2023年12月20日（水曜日）午後5時45分到着分まで

議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書
株式会社○○○○ 御中

株主番号 議決権行使個数 個

議案	第1号/下の候補 議案（若くは）	第2号 議案
	賛否表示欄 [賛] [否]	[賛] [否]

○年○月○日

株式会社○○○○

○

お願い

-
-
-
-

議決権行使ウェブサイト
https://www.web54.net
議決権行使コード
XXXXX-XXXX-XXXX-XXXX
パスワード
XXXXXXXXXXXX

携帯用
QR

※各議案に対して賛否の表示がない場合、賛成の意思表示がされたものとしてお取り扱い致します。

こちらに、議案に対する賛否をご記入下さい。

第1号議案	
全員賛成の場合	[賛]の欄に○印
全員否認する場合	[否]の欄に○印
一部の候補者を 否認する場合	[賛]の欄に○印をし、否認する 候補者の番号をご記入下さい。

第2号議案	
賛成の場合	[賛]の欄に○印
否認する場合	[否]の欄に○印

インターネット等による議決権行使に必要な、「議決権行使コード」と「パスワード」が記載されています。

書面（郵送）及びインターネット等の両方で議決権行使をされた場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

株主総会参考書類

第1号 議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、本議案について同じです。）全員（6名）は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、意思決定の迅速化等を図るため、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

なお、本議案について、監査等委員会からは、特段の意見はありません。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位等	候補者属性
1	まつした 松下 剛	代表取締役社長	再任
2	たじま 田島 安希彦		新任
3	いのうえ 井上 祐介	取締役	再任
4	くろだ 黒田 武志		新任 社外 独立

候補者番号 1

まつした つよし
松下 剛
 (1970年9月1日生)



再任

所有する当社の株式数
17,001,155株

略歴並びに当社における地位及び担当

1989年 4月 日本電装株式会社（現株式会社デンソー）入社
 1992年 5月 株式会社ヤマヒサ入社
 1994年 6月 オートサービスブレイズ創業
**1996年 1月 株式会社エムティージーブレイズ（現当社）設立
 代表取締役社長就任（現任）**
 2018年11月 五島の椿株式会社設立 代表取締役就任

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

取締役候補者とした理由

松下剛氏は、1996年の創業以来、一貫してフィロソフィをベースとした全員経営の実現に向け尽力し、当社グループの経営を指揮してまいりました。激しく変化する外部環境においても、世界中の人々の「VITAL LIFE」を実現するというビジョンのもとグループ全体の業績基盤の強化を実現し、成長軌道への回帰を果たしております。その強力なリーダーシップとブランドを生み出す創造性により、経営の監督と意思決定の強化及び当社グループの持続的な高成長・高収益を牽引することが期待されるため、取締役として再任をお願いするものであります。

候補者番号 2

たじま あきひこ
田島 安希彦
 (1962年12月23日生)



新任

所有する当社の株式数
0株

略歴

1988年 3月	株式会社ジェック第一教育センター入社	2006年 3月	株式会社リーテック 取締役就任
1996年11月	同社 取締役経理部長就任	2009年12月	株式会社カクヤス入社
1999年 4月	株式会社学育舎(現株式会社ウィザス)取締役経理本部長兼財務部長就任	2010年 4月	同社 取締役就任
2005年 4月	株式会社ウィザス 取締役 経営管理本部長就任	2011年 4月	同社 常務取締役就任
2005年10月	ケン・ミレニウム株式会社 取締役就任	2016年 6月	同社 代表取締役副社長就任
		2020年10月	株式会社カクヤスグループ 代表取締役副社長就任
		2022年 6月	同社 代表取締役社長就任

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

取締役候補者とした理由

田島安希彦氏は、これまで数々の企業で管理部門責任者ならびに取締役として経営に携わり、会社経営全般に関する豊富な実績と深い見識を備えております。複数の業界において徹底した現場主義を貫き企業改革、企業再編を進めた経験を有するとともに、企業経営および資本政策に精通し株式上場、M&Aを主導するなど経験も豊富であることから、経営者としての手腕を發揮し今後の当社グループのさらなる企業成長に貢献できると判断し、取締役として選任をお願いするものであります。

候補者番号 3

いのうえ ゆうすけ
井上 祐介
(1966年1月16日生)



再任

所有する当社の株式数
225,885株

略歴並びに当社における地位及び担当

- | | | | |
|----------|---|----------|---|
| 1987年 3月 | グランドウイスコ株式会社
(現グランドウエア株式会社) 入社 | 2011年 4月 | 株式会社アンドライブ (現株式会社MTGプロフェッショナル) 設立
代表取締役就任 (現任) |
| 1989年 6月 | プレスト株式会社設立 取締役就任 | 2014年 1月 | 当社入社 執行役員就任 |
| 1994年 5月 | 株式会社プレックス (現株式会社フェニックス) 設立 代表取締役就任 | 2015年12月 | 当社取締役就任 (現任) |
| 1998年 8月 | 日本トレードオーシャン株式会社
(現株式会社サージック) 設立
代表取締役就任 | 2020年 9月 | 株式会社MTG FORMAVITA
取締役就任 (現任) |
| 1998年 8月 | プレスト株式会社 代表取締役就任 | 2021年 8月 | 株式会社MTG メディサーブ
代表取締役就任 |

●プロフェッショナル事業及びBEAUTY STORE事業部門管掌役員 プロフェッショナル事業本部長

重要な兼職の状況

株式会社MTGプロフェッショナル 代表取締役
株式会社MTG FORMAVITA 取締役

取締役候補者とした理由

井上祐介氏は2014年の入社以来、それまでの経営経験で得た知見を活かし、美容室業界をはじめとしてエステティックサロン、宿泊施設、住宅設備等多岐にわたるBtoB、BtoBtoCの販路開拓を陣頭指揮し、企業価値の向上に貢献してまいりました。業績拡大のみならず、人材の育成と組織力の向上に尽力し、高成長・高収益を持続する組織作りにも手腕を発揮しております。同氏の幅広い経験と、当社グループの事業への深い理解に基づく事業推進能力は、当社グループの更なる成長に不可欠であると考え、取締役として再任をお願いするものです。

候補者番号 4

くろだ たけし
黒田 武志
(1965年11月5日生)



新任 社外 独立

所有する当社の株式数
0株

略歴

- | | |
|----------|---|
| 1989年 4月 | トヨタ自動車株式会社入社 |
| 2000年 7月 | ネットオフ株式会社 (現リネットジャパングループ株式会社) 設立
代表取締役就任 (現任) |
| 2013年 3月 | リネットジャパン株式会社 (現リネットジャパンリサイクル株式会社設立)
代表取締役就任 (現任) |
| 2020年 8月 | リネットジャパンソーシャルケア株式会社 代表取締役就任 (現任) |
| 2020年11月 | ネットオフ株式会社設立 代表取締役就任 (現任) |
| 2022年 7月 | リネットジャパングローバルスタッフ株式会社設立
代表取締役就任 (現任) |
| 2023年 4月 | 株式会社アニスピホールディングス 取締役就任 (現任) |

重要な兼職の状況

リネットジャパングループ株式会社 代表取締役社長 グループCEO	株式会社アニスピホールディングス 取締役
リネットジャパンリサイクル株式会社 代表取締役会長	RenetJapan(Cambodia)HR Co., Ltd. 取締役
ネットオフ株式会社 代表取締役会長	リネットジャパングローバルスタッフ株式会社 代表取締役
リネットジャパンソーシャルケア株式会社 取締役	

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

黒田武志氏は、リユース事業を中心とする上場企業の創業者として国内外における幅広い事業展開と容容拡大を陣頭指揮してきた経験から、企業経営全般における豊富な知見を有しております。当社グループの成長と企業価値向上のため、同氏の幅広い経験及び資質が不可欠であるとの判断から、当社の社外取締役として選任をお願いするものであります。

招集ご通知

参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

- (注) 1. 松下剛氏は、会社法第2条第4号の2に定める親会社等であります。
2. 松下剛氏以外の各候補者と当社との間には、特別な利害関係はありません。
3. 黒田武志氏は社外取締役候補者であります。
4. 黒田武志氏の選任が承認された場合、当社は同氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。なお、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額であります。
5. 黒田武志氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たしており、黒田武志氏の選任が承認された場合には、当社は黒田武志氏を独立役員として指定する予定です。
6. 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、2024年度に同内容で更新することを予定しております。当該保険により被保険者がその地位に基づいて行った行為（不作為を含む）に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の、法律上の損害賠償金、争訟費用の補償、及び被保険者に対してなされた損害賠償請求により被保険者が被った損害を会社が補償（会社補償）する場合を補償するものです。ただし、犯罪行為や法令違反を認識しながら行った行為など一定の事由に対しては補償の対象としないこととしております。当該保険契約の被保険者は当社取締役及び執行役員並びに当社子会社の取締役等の主要な職務執行者であり、保険料は全額会社負担としております。当社取締役を含む被保険者の各候補者が取締役等に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。

監査等委員である取締役1名選任の件

監査等委員である取締役清水綾子氏は、本総会終結の時をもって辞任いたします。つきましては、監査等委員である取締役1名の選任をお願いするものであります。監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。なお、本議案について、監査等委員会の同意を得ております。

氏名

候補者属性

いしだ むねひろ
石田 宗弘

新任

社外

独立

いしだ むねひろ
石田 宗弘
(1982年2月22日生)



新任

社外

独立

所有する当社の株式数
0株

略歴

2007年12月 弁護士登録（東京弁護士会）
2007年12月 三宅坂総合法律事務所 入所
2017年 1月 三宅坂総合法律事務所 パートナー就任（現任）
2017年 6月 株式会社コパ・コーポレーション 監査役就任
2020年 5月 ビーロットリート投資法人 監督役員就任
2023年 8月 株式会社Rehab for JAPAN 監査役就任（現任）

重要な兼職の状況

三宅坂総合法律事務所 パートナー
株式会社Rehab for JAPAN 監査役

監査等委員である社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

石田宗弘氏は、弁護士の資格を有しており、企業法務を専門とする法律事務所におけるパートナーとしての長年の経験から、企業法務全般に相当程度の知見を有しております。特に企業のファイナンス、M&A、IPO等に精通するとともに、コーポレート・ガバナンス、企業のコンプライアンスを含む幅広い領域における専門的な知識及び経験に基づき複数の企業で監査役を歴任しております。これらの実績から、過去に社外役員となること以外の方法で直接会社経営に関与した経験はありませんが、企業経営の健全性確保と事業発展に貢献できると判断し、当社の監査等委員である社外取締役として選任をお願いするものです。

- (注) 1. 石田宗弘氏と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 石田宗弘氏は、社外取締役候補者であります。
3. 当社は、石田宗弘氏の選任が承認された場合、当社は石田宗弘氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。なお、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額であります。
4. 役員等賠償責任保険契約の内容の概要
- 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、2024年度に同内容で更新することを予定しております。当該保険により被保険者がその地位に基づいて行った行為（不作為を含む）に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の、法律上の損害賠償金、争訟費用の補償、及び被保険者に対してなされた損害賠償請求により被保険者が被った損害を会社が補償（会社補償）する場合を補償するものです。ただし、犯罪行為や法令違反を認識しながら行った行為など一定の事由に対しては補償の対象としないこととしております。当該保険契約の被保険者は当社取締役及び執行役員並びに当社子会社の取締役等の主要な職務執行者であり、保険料は全額会社負担としております。当社取締役を含む被保険者の各候補者が取締役等に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。
5. 石田宗弘氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、石田宗弘氏の選任が承認された場合には、当社は石田宗弘氏を独立役員として指定する予定です。

以上

〈ご参考〉 スキルマトリクス

本総会第1号議案及び第2号議案の承認が得られた場合の取締役の知識・経験・能力等を一覧化したスキルマトリクスは以下のとおりとなります。

氏名	役職	企業経営、 経営戦略	開発・テクノロジー、 IT	セールス、 マーケティング	国際性、 ダイバーシティ	財務・会計、 資本市場対応	法務、 リスクマネジメント
松下 剛	代表取締役社長	○	○	○			
田島 安希彦	取締役	○				○	○
井上 祐介	取締役	○		○			
黒田 武志	取締役 (社外)	○		○	○		
大畠 豊	取締役 (社外) 監査等委員				○	○	○
井関 新吾	取締役 (社外) 監査等委員					○	○
石田 宗弘	取締役 (社外) 監査等委員					○	○

※1. 「発揮することが期待されるスキル」のうち主なもの最大3つに○をつけています。

※2. 「ガバナンス」はすべての取締役に求められることから一覧に記載しておりません。

ReFa

『ReFa』は、「BEAUTY ENTERTAINMENT」をコンセプトに、既存の枠を超えた新しい美容習慣を提案するビューティーブランドです。



『ReFa』は2009年にエステティシャンの手技を再現した1本のローラーから始まりました。以来、「BEAUTY ENTERTAINMENT」をコンセプトに、ヘアケアアイテムからビューティーシャワー、美容機器、コスメまで新しい美容のかたちを提案しております。今期は特に、2019年にトップサロンとの共同開発により「日本のプロフェッショナルの技をテクノロジーで再現する」を開発コンセプトに立ち上げたReFaのヘアケアシリーズが大変好調で、多くのお客様に愛される人気のカテゴリへと成長いたしました。今後もさらにラインナップを拡充し、多くのお客様に美しくなる喜びをお届けできる商品展開を進めてまいります。

[TOPICS]

ヘアアイロンシリーズ 累計出荷数100万本



ヘアアイロンシリーズが2022年12月に累計出荷数100万本を突破いたしました。リファビューテックストレートアイロンをはじめ、年々商品を拡充。今後も更なる商品開発に努めてまいります。

※2019年10月～2022年12月末実績
ReFaヘアアイロンシリーズ累計出荷本数

ブラシシリーズ 累計出荷数100万本



ブラシシリーズが、2023年3月末に累計出荷数100万本を突破いたしました。ギフトとして「リファハートブラシをプレゼントしたい」というお声も多く、幅広い世代のお客様に選んでいただいております。

※2021年4月～2023年3月末実績
ReFaブラシシリーズ累計出荷本数

ロックオイルシリーズ 累計出荷数100万本



ロックオイルシリーズが、2023年5月末に累計出荷数100万本を突破いたしました。「アイロン前に使うことで髪を熱ダメージから守る」というこれまでにないコンセプトが反響を呼び、多くのお客様からご好評をいただいております。

※2020年10月～2023年5月末実績
ReFaロックオイルシリーズ累計出荷本数



『SIXPAD』はトップアスリートからシニアまで、
日常的な身体づくりをサポートすることでそれぞれの生き生きとした人生の実現を目指すブランドです。



新商品シックスパッド パワースーツ コアベルト【ホームジム対応モデル】の発売を記念して、2023年7月に「クリスティアーノ・ロナウド選手来日イベント」を実施いたしました。イベントでは、ロナウド選手と代表松下が対談し、SIXPADと歩んだ10年の軌跡を振り返りました。ロナウド選手は「SIXPADとのパートナーシップに深い絆を感じています。ファミリーとしてのつながりを、MTGの全社員に感じていて、それがこのパートナーシップの根底にあります。10年近くも続く関係は本当に素晴らしい関係だと思っています」と、互いに深い信頼関係があることを明かしました。今後も、スポーツ&フィットネス、ヘルスケア&メディカルの領域で貢献することを目指してまいります。

TOPICS

パワースーツコアベルトから カラーバリエーションが登場



パワースーツ コアベルト【ホームジム対応モデル】のカラーバリエーションを2023年5月より販売開始いたしました。アプリとの連動でインストラクターと一緒に鍛えられるオンライントレーニングを実現。体幹をEMS（筋電気刺激）で鍛え、さらにランニングなどの有酸素運動や、筋トレと組み合わせた「ハイブリッドトレーニング」をも可能にする、革新的なEMSスーツです。

フットフィットシリーズ 累計出荷数100万台



フットフィットシリーズが2023年9月に累計出荷数100万台を突破いたしました。フットフィットシリーズは、座ったまま裸足で乗せることで、EMSが足裏、前すね、ふくらはぎにアプローチ。歩くときに使う筋肉を効率的に鍛えます。シニアの方の足のトレーニングや、リモートワークによる運動不足の対策などをご支持いただいております。
※2018年10月～2023年9月実績 SIXPAD Foot Fitシリーズ累計出荷台数

五島の椿

『五島の椿』は、「椿を再発見し、その全てを活かす」をテーマに、椿を通じて持続可能な産業の創出と地域の発展に貢献することを目指すブランドです。



五島の椿株式会社は、過疎化と高齢化が進む五島列島において、五島椿の価値を高め、広く知っていただくことにより、これからの日本の地方産業の可能性を切り拓いていくことを目標としております。

五島列島の椿をまるごと生かした、自然由来のスキンケアブランド「五島の椿」をご愛用中の吉永小百合さんと共に、豊かな自然と共存する地域活性化を目指し、

「五島の椿」の魅力を伝えるプロモーション活動を全国へ展開する運びとなり、「吉永小百合×五島の椿 スキンケア商品発表会」を2023年2月に開催いたしました。

"椿サポーター"としてプロジェクト全体を支えていただいている吉永さんより、商品との出会いや36年ぶりにスキンケア商品のプロモーション活動に携わることとなった理由などお話をいただき、五島への思いが伝わるやり取りに、会場も暖かい雰囲気になりました。

NEWPEACE

『NEWPEACE』は、睡眠理論×テクノロジーで叶える「眠り」のトータルソリューションブランドです。

NEWPEACEより、ニューピース ピローリリースを2023年5月に販売開始いたしました。まくら難民と言われる従来のまくらでは満足できていなかった方々に向けて、「眠り」を変えるために素材を一から開発。今までに無い新感覚「相反発®」素材を開発すると共に、非常に多くの方が首肩に違和感を抱えている現状を踏まえ、整形外科・脊椎脊髄専門医 名誉指導医 佐藤公治医師監修の元、首と肩の負担を軽減させる独自の形状「3Dダブルアーチ形状」を開発、首肩サポートまくらが誕生しました。



memo

① 企業集団の現況

(1) 当連結会計年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響の緩和により、社会経済活動の正常化が進む一方、金融政策等を背景とした世界的な資源価格の高騰、急速な為替相場の変動や物価の上昇、また地政学的にも不安定な状況が続ぎ、依然として先行き不透明な状況が継続いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、世界中の人々の人生をより美しく、より健康的に輝かせるためにHEALTH、BEAUTY、HYGIENE領域においてブランド及び商品の開発に取り組んでまいりました。

(ReFaブランド)

<FINE BUBBLE SHOWER>

バスタイムを美容タイムへと変えるReFaのビューティーシャワーシリーズの最新モデル、ReFa FINE BUBBLE PUREに、お客様の声から生まれた新色ブラックを追加いたしました。2023年7月10日からオンラインショップにて先行販売を開始しております。7月31日からは、バスルームをより洗練された空間へと変えるシャワーホース、ReFa SHOWER HOSEもブラックとシルバーの2色展開で販売開始しております。シャワーヘッドやバスルームに合わせてお気に入りのカラーを選ぶ楽しみを、使う楽しみとともに提供しております。発売以降も好評が続くReFa FINE BUBBLE PUREにおいては、引き続き「浴びるだけで10秒エステ」をコンセプトにしたTVCMを、主に関東を中心に全国放映の強化を行いました。CM放映と合わせて、「お悩みを解決する」WEBプロモーションもさらに強化し、元々シャワーヘッドの交換に積極的なお客様だけではなく、シャワーヘッドの交換未検討のお客様にも認知度を広げることで、市場のスケール拡大にリーダーシップを持ってけん引しております。また、ファインバブルの汚れ落ち効果や快適な浴び心地を体験できる場所として、温浴施設やホテルでの導入も大変好調に推移しており、ブランドの接点強化や話題創出にも繋げ続けております。

<HAIR CARE>

サロンクオリティの仕上がりと速乾性をご自宅でも実感頂くために、コンパクトなデザインと使いやすさを追求した大人気のドライヤーシリーズ最新モデル、ReFa BEAUTECH DRYER SMARTに、お客様の声から生まれた新色ピンクを追加いたしました。2023年8月23日より全国的美容室サロンにて先

行販売を開始しております。ヘアケアやスタイリングの満足感はもちろん、お気に入りのカラーを選ぶ楽しみ、使う楽しみの幅を広げております。ReFa BEAUTECH DRYER SMARTの販売を引き続き強化するため、朝の情報番組等、世帯視聴率が高い番組を中心にTVCMを放映いたしました。また、人気美容誌arの「HAIR CARE総選挙 2023」ドライヤー部門で、ReFa BEAUTECH DRYER SMARTが1位、スカルプブラシ部門でReFa HEART BRUSH for SCALPが2位に輝く等好評を得ており、WWD BEAUTY 2023「ヘアサロン版ベストコスメ」でも、ReFa BEAUTECH DRYER PROが美容機器部門で1位、ReFa BEAUTECH FINGER IRONも同じく美容機器部門で2位を受賞する等、ReFaのヘアケアアイテムが話題を独占しております。2023年3月末にシリーズ累計出荷数100万本を突破し、楽天のブラシ・くしランキングで19週連続1位を獲得する等、幅広い世代のお客様から高評価を得ているReFa HEART BRUSHは、家族や友人へのギフトとしてプレゼントしたいという声も多いため、お客様からのご要望にお応えして、ReFa HEART BRUSHのシリーズ定番カラー6色をリッチなボックスにセットしたReFa HEART BRUSH COLLECTIONを、2023年8月10日（ハートの日）に合わせてオンラインショップや全国百貨店等で販売開始いたしました。ローズゴールド、シャインレッド、オーロラホワイト、シャンパンゴールド、シルバー、マットホワイトの計6色のブラシが描くカラフルな花に、贈る人の"ハート"を込めて、大切な人たちへのギフトに最適な一品となっております。

<BEAUTY TECH>

最速0.2秒間隔の高速照射で全身のムダ毛にアプローチする家庭用光美容器ReFa EPI GOの販売強化を引き続き行いました。ReFa公式InstagramにてEPIマガジン(ムダ毛ケアの基礎知識や商品情報をQ&A形式で紹介するコンテンツ)のストーリー配信や、光美容器の需要が高まる夏場までに、タレントのインタビュー投稿等を含むSEO記事40本を連続公開する等、ReFaのムダ毛ケアの認知促進に努めました。

<SHAMPOO/TREATMENT/その他リピート商品>

WWD BEAUTY 2023「ヘアサロン版ベストコスメ」でReFa LOCK OILがヘアオイル部門で1位を受賞いたしました。また、毎日の入浴時間を至福のリラックスタイムに変える、薬用入浴剤ReFa SPA TABLETが2023年9月20日に全国の美容室サロンを中心に販売開始いたしました。お湯に溶けた重炭酸イオンが温浴効果を高めることにより、芯から全身を温め、美の大敵となる冷えや日々の疲労にアプローチいたします。内側から美しさを引き出し、いきいきした毎日へ導きます。

ReFaはこれからも、美容機器とコスメの両軸から様々な美容アプローチの幅を広げ続け、お客様のVITAL BEAUTYを実現してまいります。

(SIXPADブランド)

<SPORTS>

7月にブランドパートナーのクリスティアーノ・ロナウド選手が来日し、大阪で「SIXPAD新商品発売記念 クリスティアーノ・ロナウド選手来日イベント」を実施いたしました。ジェルシートがいらずに手軽に体幹を鍛えることができるSIXPAD Powersuit Core Belt HOME GYM対応モデルを改めて

ご紹介するとともに、ロナウド選手には商品の訴求である「体幹」の重要性等について語って頂きました。イベントの様子はTVやWEBを中心に多くの媒体で掲載され、認知拡大へと繋がりました。ロナウド選手来日中には、ロナウド選手の直筆サイン入りグッズが当たるキャンペーンも期間限定で実施する等、販売促進を図りました。

<HEALTH CARE>

再生医療関連事業のセルソース株式会社と事業拡大並びに協業による新規事業の創出を目指し、協業に合意いたしました。ひざに繋がる太ももの筋肉を鍛えるサポーター形状のSIXPAD Knee Fitをセルソース株式会社の提携医療機関に提供し、患者様の自宅でのリハビリとしての活用を目指してまいります。

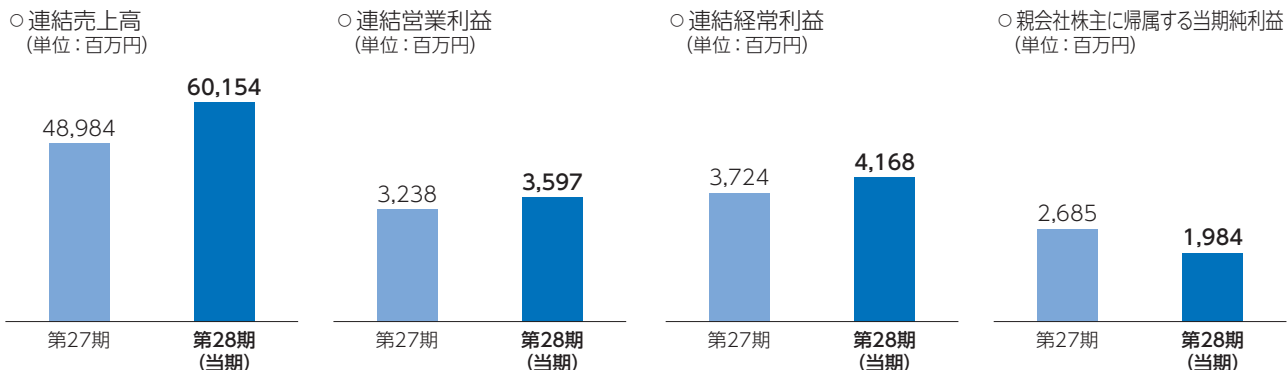
敬老の日に向けて、足裏から足をトレーニングするSIXPAD Foot Fitシリーズのキャンペーンを実施いたしました。キャンペーン期間中はTV、新聞、WEB、SNSでプロモーションを展開し売上増加に貢献いたしました。

<Recovery>

リカバリーシリーズからは、筋肉のこりをほぐして疲労を取るSIXPAD Conditioning Roller、着て寝るだけで疲労を回復するSIXPAD Recovery Wear Sleep、スリムボディに振動機能を搭載し全身の気になる部位をピンポイントにケアできるSIXPAD Power Gun Slimを発売いたしました。SIXPAD Recovery Wear Sleepは2022年10月に新設された一般医療機器「家庭用遠赤外線血行促進用衣」の基準を満たしており、血行を促進し疲労を回復させます。

今後も筋肉のトレーニングやケアをする商品を開発し、お客様の健康をサポートしてまいります。

<ご参考>



(Styleブランド)

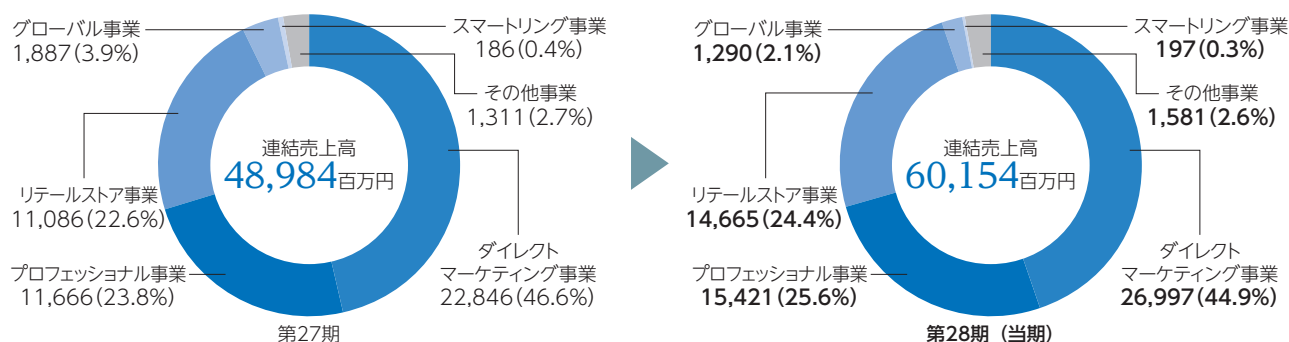
2023年7月26日より、健康チェアシリーズ第2弾となる在宅ワークやオフィスでも使用できるキャスタータイプ2機種、Style Chair SMCとStyle Chair PMCの販売を開始いたしました。健康チェアシリーズはダイニングや在宅ワーク、学習デスク等、自宅利用を中心に幅広いシーンで使用されてまいりました。その中でよりビジネスシーンで使用しやすいキャスター、高さ調整、座面の回転機能に対するご要望を頂いており、このたびお客様のご要望にお応えする形で新商品を投入いたしました。1日当たりの日本人の座り時間は約7時間に及び、世界第1位と言われております。長時間の着座では腰部に対する負荷が大きく、腰痛の原因の一種とも言われております。健康チェアは着座時の腰の負担を軽減することができ、長時間のご利用でも安心して使用することが可能です。Styleショップ並びにオンラインショップを中心に在宅ワークの需要を取り込むことができ、好調な滑り出しとなっております。今後は最大需要となるオフィス市場へ展開し、健康経営や社員の福利厚生を推進している企業様への導入を加速してまいります。

健康チェアと同様に高単価商品の販売が好調に推移しており、シートタイプのプレミアムモデルStyle PREMIUMがEC、整体整骨院及び薬局市場で販売が好調に推移しております。導入店舗数の拡大ができたことで、お客様が商品を体感できる場所と専門家からの説明を聞く機会が増えたことにより、納得して購入頂いております。引き続き店舗数を増やし、売上向上に努めてまいります。

また、海外市場においても積極的な販売を行いました。中国市場では大手ホールセール企業との協業により、販売を強化いたしました。韓国、台湾、香港では引き続き代理店による直営ショップの販売が堅調に推移しております。

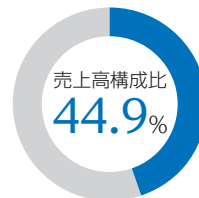
S字姿勢に導く独自形状がStyleの最大特長となります。姿勢に悩み苦しむ方は世界共通であることから、Styleは国内のみならず、世界で通用する商品を引き続き開発してまいります。

○セグメント別連結売上高構成比



ダイレクトマーケティング事業

連結売上高 269億97百万円（前期比18.2%増）



主な事業内容

当社及び国内他社ECサイト、新聞を通じた一般消費者への直接販売及びインターネット通信販売・カタログ販売並びにテレビ通信販売事業者への卸売販売

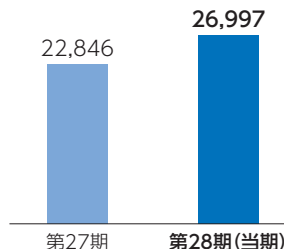
当連結会計年度の売上高は26,997百万円（前期比18.2%増）、経常利益は7,184百万円（前期比18.0%増）となりました。

ReFaブランドではReFa FINE BUBBLE SやReFa FINE BUBBLE PUREのシャワーシリーズが継続してご好評を頂いており、本体の販売伸長とともにReFa FINE BUBBLE PUREの浄水カートリッジの販売数も好調に推移しております。また、ReFa BEAUTECHシリーズのヘアケア商品や付随するリピート商品の販売においても継続して好調に推移いたしました。ブラシシリーズではReFa HEART BRUSHが安定して高い販売台数を推移している他、第3四半期連結会計期間に過去最高水準の予約注文となったReFa AILE BRUSHの販売が発売後も引き続き好調に推移しております。

SIXPADブランドでは敬老の日キャンペーンがご好評を頂き、SIXPAD Foot Fit Lightを中心に販売数を大きく伸ばすことができました。

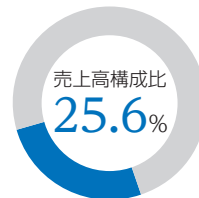
MTG LIFEPLAN（月々定額・下取りサービス・きちんと保証）においても引き続き会員数が増加しております。

○連結売上高
（単位：百万円）



プロフェッショナル事業

連結売上高 154億21百万円（前期比32.2%増）



主な事業内容

B happyサロン向けECプラットフォームでの販売、美容室運営事業者、エステティックサロン運営事業者への卸売販売、宿泊施設への設備販売、ショッピングセンター等での一般消費者への直接販売

当連結会計年度の売上高は15,421百万円（前期比32.2%増）、経常利益は1,682百万円（前期比11.0%減）となりました。

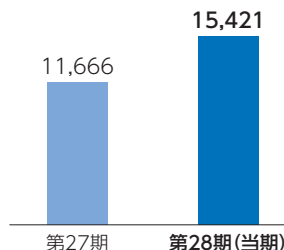
O2Oサロン向けプラットフォームサービスB happy（プラットフォーム上に設けた自店舗専用のオンラインショップより、店舗顧客に当社商品をいつでもお買い求め頂けるサービス）は、色やサイズが多いアイテム等もサロンが在庫負担なく販売できる事からサロンに大変ご好評を頂いており、加盟店舗数は13,200店舗と順調に増加しております。

2023年9月に行ったサロン市場先行販売のReFa CURL IRON PRO、ReFa STRAIGHT IRON PRO、ReFa BRISTLE、ReFa LOCK TREATMENTのオンライン新商品発表会には、約15,000店舗を保有するサロンにご参加頂き、3名のトップスタイリスト様の実演による説明が大変ご好評を頂きました。

例年の年末商戦に向けたヘアケアアイテムのサロン市場先行販売は業界でも評判となっており、数多くの紹介が入り直近3ヶ月の新規契約サロン数は2,420店舗と、前年の店舗増加数の約2倍となりました。

「ReFaルーム」も堅調に推移し、単品設置を含む設備設置ホテル数累計は1,500施設、総導入室数は21,900室となり、9月の月間体感者数は45万人を超えております。ReFaブランドのリピート商品の導入も進んでおり、11月発売のReFa BEAUTECH SHAMPOO、ReFa BEAUTECH TREATMENTは、そのデザイン性、機能性の高さから多数の設置に関するご要望を頂いております。

○連結売上高
（単位：百万円）



リテールストア事業

連結売上高 146億65百万円（前期比32.3%増）

主な事業内容

量販店・専門店・百貨店・免税店・ショッピングセンターを中心とした運営事業者への卸売販売及び当社運営の小売店舗での対面販売を通じた一般消費者への直接販売

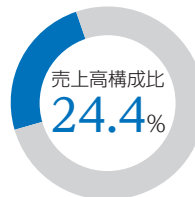
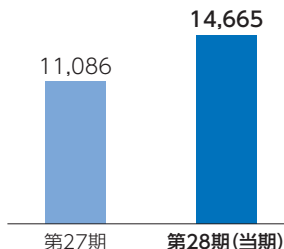
当連結会計年度の売上高は14,665百万円（前期比32.3%増）、経常利益は1,488百万円（前期比98.0%増）となりました。

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の5類移行により人々の行動が益々活発になり、夏季休暇も重なったため店頭集客も大変賑わいを見せ、それに伴い売上も好調に推移いたしました。

ReFaブランドでは、ReFa BEAUTECHシリーズのヘアケア商品や付随するリピート商品及び、ReFa FINE BUBBLE PURE等を主軸に引き続き売上が好調に推移いたしました。また、ReFaブランドから新たにReFa BEAUTECH DRYER SMARTピンクカラー、ReFa ION CARE BRUSH PREMIUMが新商品として店頭に導入され、新たなお客様層の獲得に大きく寄与いたしました。

SIXPADブランドでは、敬老の日キャンペーンを実施し、SIXPAD Foot Fitを中心に販売が伸びました。

○連結売上高
（単位：百万円）



グローバル事業

連結売上高 12億90百万円（前期比31.6%減）

主な事業内容

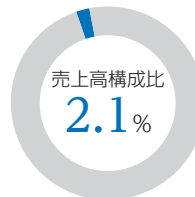
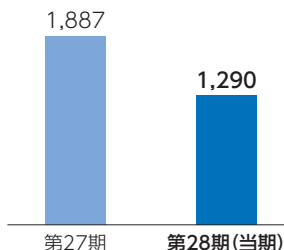
海外グループ会社ECサイト及び海外のインターネット通信販売事業者の運営するECサイトを通じた一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット通信販売事業者、海外の販売代理事業者、海外の美容専門店及び海外の百貨店運営事業者への卸売販売

当連結会計年度の売上高は1,290百万円（前期比31.6%減）、経常損失は1,050百万円（前連結会計年度は604百万円の経常損失）となりました。

中国においては、Styleブランドにて会員制ホールセールクラブのポップアップストアの展開に伴い、Style StandardやStyle Natural等の販売が好調に推移いたしました。しかし、8月下旬よりALPS処理水問題の影響を受け、オンラインでのKOLライブ販売が中止となり、予定した売上が減少する事となりました。韓国においては、ReFa HEART BRUSHの販売を開始し、韓国ビューティーチェーンショップ1,300店舗での展開をスタートいたしました。K-POPグループを起用し積極的なマーケティングも実施しており、今後グローバルでの販売を加速してまいります。

一方、中国市場において引き続き在庫適正化を進めたことが主な減益の要因となっております。

○連結売上高
（単位：百万円）



招集ご通知

参考書類

事業報告

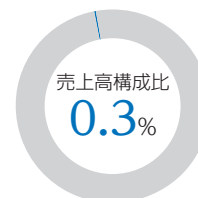
連結計算書類

計算書類

監査報告

スマートリング事業

連結売上高 1億97百万円（前期比5.8%増）



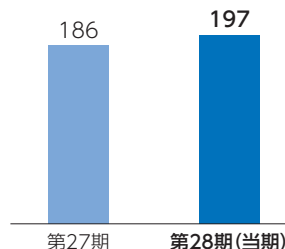
主な事業内容

ショッピングや飲食時の決済を可能とする、非接触式のスマートリング（近距離無線通信を搭載した指輪）の製造販売を行うIoT事業

当連結会計年度の売上高は197百万円（前期比5.8%増）、経常損失は1,009百万円（前連結会計年度は1,224百万円の経常損失）となりました。

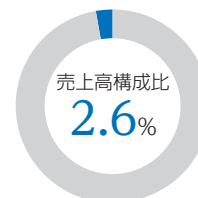
Amazonプライムデーでのキャンペーンやカラーリングの発売、新たにスマートロック（セサミロック）との連携を発表する等、拡大施策を継続して実施し、販売数量の増加を図りました。一方、認知拡大のためのプロモーション費用や固定費を賄うだけの販売量に達しておらず経常損失を計上しております。

○連結売上高
（単位：百万円）



その他事業

連結売上高 15億81百万円（前期比20.6%増）

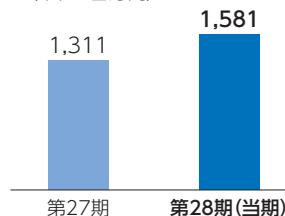


主な事業内容

EV車両を中心とした自動車販売業

当連結会計年度の売上高は1,581百万円（前期比20.6%増）、経常損失は95百万円（前連結会計年度は58百万円の経常損失）となりました。

○連結売上高
（単位：百万円）



以上の結果、当連結会計年度の売上高は60,154百万円（前期比22.8%増）となりました。また、営業利益は3,597百万円（前期比11.1%増）、経常利益は4,168百万円（前期比11.9%増）となりました。なお、2023年11月2日に当社HPにて公表しましたReFa BEAUTECH DRYERの無償交換に係る費用990百万円を特別損失に計上したこと等から、親会社株主に帰属する当期純利益は1,984百万円（前期比26.1%減）となりました。

上記の業績の動向等を踏まえ、当連結会計年度の期末配当につきましては、1株当たり10円とすることを2023年11月21日開催の定時取締役会において決定いたしました。また、翌連結会計年度の配当につきましては、1株当たり年間10円（期末10円）を予定しております。

② 設備投資の状況

当連結会計年度において実施いたしました当社グループの設備投資の総額は1,973百万円でありま

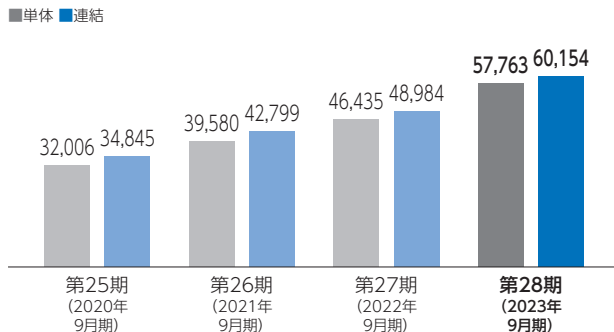
す。その主な内訳は、製品製造に係る金型の購入（400百万円）、ReFa店頭ブランド什器の購入（249百万円）、ReFa及びSIXPAD店舗内装工事（200百万円）、購買用Web-EDIシステムへの投資（40百万円）及びHOME GYM関連事業における設備投資（31百万円）であります。

③ 資金調達の状況

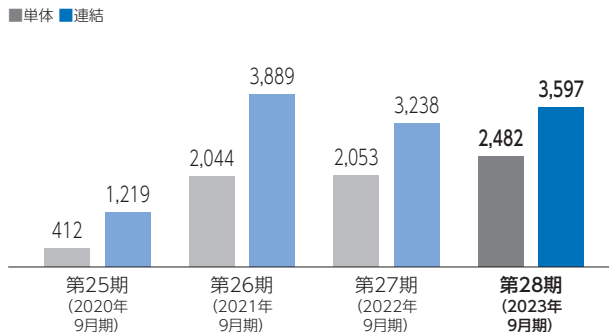
当連結会計年度において、新株予約権の行使により13百万円の資金調達を行いました。

(2) 財産及び損益の状況

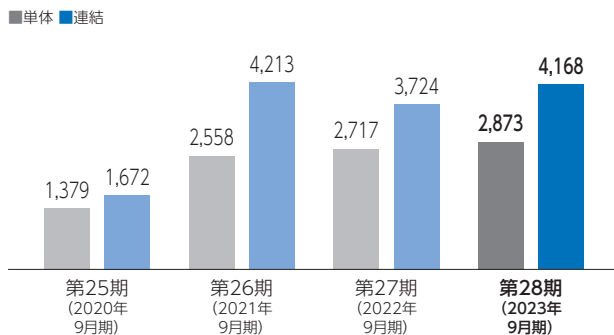
○売上高 (単位:百万円)



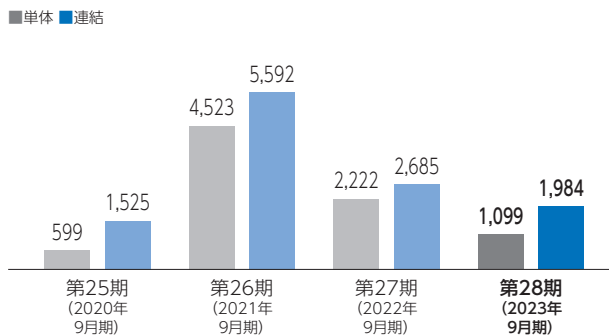
○営業利益 (単位:百万円)



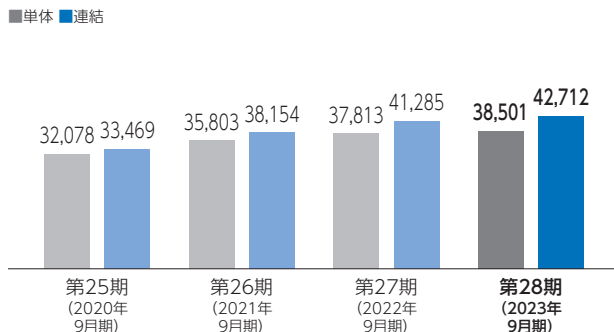
○経常利益 (単位:百万円)



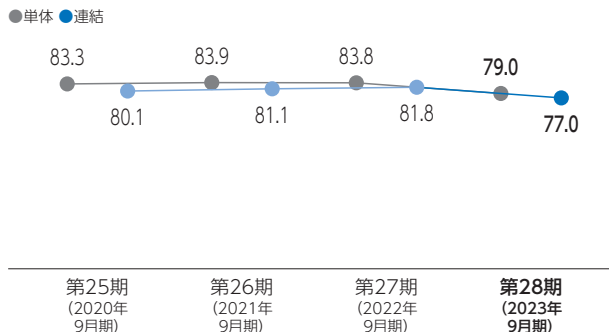
○当期純利益/親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



○純資産 (単位:百万円)



○自己資本比率 (単位:%)



① 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第25期 (2020年9月期)	第26期 (2021年9月期)	第27期 (2022年9月期)	第28期 (当連結会計年度 (2023年9月期))
売上高 (百万円)	34,845	42,799	48,984	60,154
前期比	△3.3%	22.8%	14.5%	22.8%
経常利益 (百万円)	1,672	4,213	3,724	4,168
経常利益率	4.8%	9.8%	7.6%	6.9%
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,525	5,592	2,685	1,984
当期純利益率	4.4%	13.1%	5.5%	3.3%
1株当たり当期純利益 (円)	38.44	141.76	68.50	50.35
総資産 (百万円)	41,622	46,939	49,942	54,449
純資産 (百万円)	33,469	38,154	41,285	42,712
1株当たり純資産 (円)	843.00	974.25	1,036.89	1,063.78

(注) 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により算出しており、また1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。

② 当社の財産及び損益の状況

区 分	第25期 (2020年9月期)	第26期 (2021年9月期)	第27期 (2022年9月期)	第28期 (当事業年度 (2023年9月期))
売上高 (百万円)	32,006	39,580	46,435	57,763
前期比	△12.5%	23.7%	17.3%	24.4%
経常利益 (百万円)	1,379	2,558	2,717	2,873
経常利益率	4.3%	6.5%	5.9%	5.0%
当期純利益 (百万円)	599	4,523	2,222	1,099
当期純利益率	1.9%	11.4%	4.8%	1.9%
1株当たり当期純利益 (円)	15.10	114.66	56.68	27.90
総資産 (百万円)	38,526	42,645	45,118	48,710
純資産 (百万円)	32,078	35,803	37,813	38,501
自己資本比率	83.3%	83.9%	83.8%	79.0%
1株当たり純資産 (円)	811.11	916.67	959.84	976.74

(注) 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により算出しており、また1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。

(3) 親会社の状況

該当事項はありません。

(4) 親会社等との間の取引に関する事項

当社の親会社等は、当社代表取締役松下剛であります。当社は当社代表取締役松下剛に対し、当社の商品を販売しております。

価格その他の取引条件については、個別に交渉のうえ、一般取引と同様に決定しております。

当社取締役会は、このような取引条件を把握し、当社グループの利益を害するものではないことを確認したうえで、取引ごとにその適正性・妥当性を判断しております。

(5) 重要な子会社の状況

名称	資本金	議決権の所有割合 又は被所有割合 (%)	主要な事業内容
(国内)			
株式会社ブレイズ	100万円	100	EV車両を中心とした自動車の販売、修理、損害保険代理店業
株式会社Bnext	250万円	100	業務用美容機器の製造、販売
株式会社MTGプロフェッショナル	350万円	100	美容機器・化粧品卸売業
株式会社ポジティブサイコジースクール	100万円	100	教育事業
株式会社MTGメディサービス	350万円	100	クリニック関連事業
株式会社MTG Ventures	1000万円	100	投資事業有限責任組合の運用
五島の椿株式会社	1000万円	79	椿由来原料の研究開発、化粧品企画開発製造
MTGV投資事業有限責任組合	4,8110万円	99	投資事業
一般社団法人木春会	00万円	-	診療所の運営
株式会社EVERING	1000万円	63	決済用リングの企画、販売
株式会社MTG FORMAVITA	400万円	100	当社商品の販売請負業務
株式会社M'sエージェンシー	100万円	100	広告代理業、広告に関する企画・制作
Central Japan Seed Fund投資事業有限責任組合	76800万円	0	投資事業
(国外)			
愛姆媿姫 (深圳) 商貿有限公司 (略称: MTG深圳)	2,201千元	100	当社協力パートナー会社への生産管理等サービスの提供
愛姆媿姫 (上海) 商貿有限公司 (略称: MTG上海)	231,731千元	100	美容関連機器の販売
愛姆媿姫股份有限公司 (略称: MTG台湾)	15,000千台湾ドル	100	美容関連機器の販売
MTG PACIFIC PTE.LTD. (略称: MTG/パシフィック)	550千シンガポールドル	100	美容関連機器の販売
MTG USA, INC. (略称: MTG USA)	13,688千USドル	100	美容機器・化粧品卸売業
MTG KOREA Co.,Ltd (略称: MTG KOREA)	990,000千ウォン	100	美容機器・化粧品卸売業
McLEAR LIMITED (略称: マクレアUK)	0千ポンド	80	IoT事業
MTG EUROPE B.V. (略称: MTG EUROPE)	2,330千ユーロ	100	欧州事業の統括会社機能

(注) 当連結会計年度において、連結子会社であった株式会社MTG UK.CO.LTDは、2023年7月25日に清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(6) 対処すべき課題

当社グループは中長期的な成長を図るために、以下を主な経営方針として取り組んでまいります。

① 光フィロソフィを根幹とした経営

当社グループは、「光フィロソフィ」を会社経営の根幹とし、全役職員のみならず外部パートナーとの間の信頼関係が会社経営に係る全ての基本と捉えております。当社グループの今後の継続的な企業成長を実現するためには、当社グループのすみずみまで「光フィロソフィ」の浸透を確保し続けることが重要だと認識しております。「光フィロソフィ」を浸透させる人材の育成を積極的にを行い、今後の事業展開に備えてまいります。

② 経営システムの強化

当社グループは、今後の継続的な企業成長を実現するために、多数の経営者意識を持った人材の育成及びリアルタイムな経営数字に基づく迅速かつ高度な意思決定が必要となります。そのために、当社グループの経営システムであるグループ経営方式を進化させ、市場に直結した部門別採算制度、経営者意識を持つ人材の育成及び「光フィロソフィ」をベースにした全員経営を実現させることが求められております。

経営システムの強化に向けて、グループ経営方式をさらに進化させてまいります。

③ 事業ビジョンを実現するブランドへの投資

当社グループは、事業ビジョンである「VITAL LIFE」の実現のために、HEALTH、BEAUTY、HYGIENEの3つの領域における「ReFa」「SIXPAD」等のブランドに経営資源を集中的に投下してまいります。マーケティング投資と研究開発投資はこれらのブランドを中心に実施していくとともに、人材配置や組織体制においても、これらのブランドの進化を軸に構築してまいります。これらのブランドを企業成長の中心に据えて、積極的に事業展開を行ってまいります。

④ ストックビジネスの強化

当社グループは、安定した収益基盤を構築するために、当社グループが展開するブランド及び商品についてリピート顧客を獲得していくことが課題と認識しており、新たにリピート商品の販売強化をはじめ「B happy」「MTG LIFEPLAN」等のストック型のビジネスを立ち上げ、安定的な高収益、高成長を目指してまいります。

⑤ 研究開発の強化

当社グループは、継続的な企業成長を実現するために、ブランド及び商品の研究開発を根幹に据えることとしており、それに従事する従業員自身が消費者のニーズを創り出す感覚を持ってブランド及び商品の研究開発を行うことを推進してまいります。また、開発の早期段階から開発部門と知的財産部門とが密に連携し、知的財産の権利化に注力することで、市場での模倣品対策を徹底しております。これらの活動の更なる強化を図るとともに、より創造的かつ品質の高い商品を開発できる体制構築及び人材育成を行ってまいります。

⑥ 海外戦略の再構築

海外での販売不振に対し、各海外グループ会社を本社で一元的に管理する管理体制の強化を行うとともに、中国におけるEC市場及び各国における代理店戦略の強化を最重点課題とし、早期黒字化に取り組んでまいります。

これらの取り組みを通して、安定的な高収益、高成長を実現できる企業を目指してまいります。

(7) 主要な事業内容 (2023年9月30日現在)

事業区分	事業内容
ダイレクトマーケティング事業	当社及び国内他社ECサイト、新聞を通じた一般消費者への直接販売及びインターネット通信販売・カタログ販売並びにテレビ通信販売事業者への卸売販売
プロフェッショナル事業	B happyサロン向けECプラットフォームでの取次販売、美容室運営事業者、エステティックサロン運営事業者への卸売販売、宿泊施設への設備販売、ショッピングセンター等での一般消費者への直接販売
リテールストア事業	量販店・専門店・百貨店・免税店・ショッピングセンターを中心とした運営事業者への卸売販売及び当社運営の小売店舗での対面販売を通じた一般消費者への直接販売
グローバル事業	海外グループ会社ECサイト及び海外のインターネット通信販売事業者の運営するECサイトを通じた一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット通信販売事業者、海外の販売代理事業者、海外の美容専門店及び海外の百貨店運営事業者への卸売販売
スマートリング事業	ショッピングや飲食時の決済を可能とする、非接触式のスマートリング（近距離無線通信を搭載した指輪）の製造販売を行うIoT事業
その他事業	EV車両を中心とした自動車販売業

(8) 主要な営業所及び工場 (2023年9月30日現在)

① 当社

本社	愛知県名古屋市中村区
支社	東京都千代田区
営業所	愛知県名古屋市中村区、東京都中央区、大阪府大阪市淀川区

② 子会社

株式会社ブレイズ	愛知県名古屋市中村区
株式会社Bnext	愛知県名古屋市中村区
株式会社MTGプロフェッショナル	愛知県名古屋市中村区
株式会社ポジティブサイコロジースクール	東京都千代田区
株式会社MTGメディサービス	東京都千代田区
株式会社MTG Ventures	愛知県名古屋市中区
五島の椿株式会社	長崎県五島市
MTGV投資事業有限責任組合	愛知県名古屋市中区
一般社団法人木春会	東京都中央区
株式会社EVERING	東京都中央区
株式会社MTG FORMAVITA	東京都中央区
株式会社M'sエージェンシー	愛知県名古屋市中村区
Central Japan Seed Fund投資事業有限責任組合	愛知県名古屋市中区
愛姆緹姫（深圳）商貿有限公司 （略称：MTG深圳）	中国深圳市
愛姆緹姫（上海）商貿有限公司 （略称：MTG上海）	中国上海市
愛姆緹姫股份有限公司 （略称：MTG台湾）	台湾台北市
MTG PACIFIC PTE.LTD. （略称：MTGパシフィック）	シンガポール国シンガポール市
MTG USA,INC. （略称：MTG USA）	米国カリフォルニア州ロサンゼルス郡パサディナ市
MTG KOREA Co.,Ltd （略称：MTG KOREA）	韓国ソウル市
McLEAR LIMITED （略称：マクレアUK）	英国ロンドン市
MTG EUROPE B.V. （略称：MTG EUROPE）	オランダ アムステルダム市

招集ご通知

参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

(9) 従業員の状況 (2023年9月30日現在)

① 企業集団の従業員の状況

事業区分	従業員数	前連結会計年度末比増減
ダイレクトマーケティング事業	90 (8) 名	9名増 (1名減)
プロフェッショナル事業	262 (8)	16名増 (4名減)
リテールストア事業	200 (32)	12名増 (16名増)
グローバル事業	60 (3)	8名減 (1名減)
スマートリング事業	20 (2)	2名減 (1名増)
その他事業	75 (15)	1名増 (5名減)
全社 (共通)	436 (123)	31名増 (9名増)
合計	1,143 (191)	59名増 (15名増)

(注) 1. 従業員数は就業人員 (当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む) であり、臨時雇用者数 (パートタイマー) は、() 外数で記載しております。

2. 全社 (共通) として記載されている従業員数は、主に管理部門、生産管理部門及び開発部門等に所属しているものであります。

② 当社の従業員の状況

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
679名	32名増	37.2歳	6.2年

(注) 従業員数はパートタイマーを含めると、829名になります。

(10) 主要な借入先の状況 (2023年9月30日現在)

借入先	借入額
株式会社三菱UFJ銀行	75百万円

2 会社の現況

(1) 株式の状況 (2023年9月30日現在)

① 発行可能株式総数 120,000,000株

② 発行済株式の総数 40,097,168株

(注) ストック・オプションの権利行使により、発行済株式の総数は14,880株増加しております。

③ 株主数 14,661名

④ 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
松下 剛	17,001,155株	43.13 (%)
株式会社Mコーポレーション	6,360,000	16.13
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,969,200	10.07
MTG持株会	842,279	2.14
エスカワゴエ株式会社	611,600	1.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	578,600	1.47
佐川印刷株式会社	293,600	0.74
本島 一	242,485	0.62
長友 孝二	241,210	0.61
川嶋 光貴	241,180	0.61

(注) 1. 持株比率は自己株式 (678,553株) を控除して計算しております。

2. 株式会社日本カストディ銀行 (信託口) の持株数のうち3,090千株は、松下剛が三井住友信託銀行株式会社に委託した信託財産であり、議決権行使に関する指図者は松下剛であります。

⑤ 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に交付した株式の状況

当事業年度中に当社の取締役に対し、職務執行の対価として交付した譲渡制限付き株式の数は以下の通りです。

	株式数	交付対象人数
取締役	5,789株	4名

(注) 当社の株式報酬の内容につきましては、「(2) 会社役員 の状況 ④ 役員 の報酬等の決定に関する方針及び決定方法」に記載しております。

(2) 会社役員の状況 (2023年9月30日現在)

① 取締役の状況

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
取締役会長	大田 嘉仁	鴻池運輸株式会社 社外取締役 株式会社EVERING 取締役会長
代表取締役社長	松下 剛	
専務取締役	吉高 信	管理部門管掌役員 経営推進本部長
取締役	井上 祐介	プロフェッショナル事業及びBEAUTY STORE事業部門管掌役員 株式会社MTGプロフェッショナル 代表取締役 株式会社MTG FORMAVITA 取締役
取締役	本島 一	ダイレクトマーケティング事業及びリテール営業部門管掌役員 株式会社M'sエージェンシー 代表取締役
取締役	高橋 昭夫	バイオマス・フューエル株式会社 社外取締役 鈴茂器工株式会社 社外取締役
取締役 (常勤監査等委員)	大 畠 豊	
取締役 (監査等委員)	井 関 新 吾	井関公認会計士事務所 所長 株式会社井関総合経営センター 代表取締役 株式会社山洋 社外監査役 金剛株式会社 監査役 株式会社ユニバーサル園芸社 社外取締役 (監査等委員)
取締役 (監査等委員)	清 水 綾 子	石原総合法律事務所 所属弁護士 名古屋市情報公開審査会委員 司法委員 愛知県弁護士会紛争解決センターあっせん・仲裁人 名古屋テレビ放送株式会社オンブズ6 委員 アイカ工業株式会社 社外取締役 シンクレイヤ株式会社 社外取締役 (監査等委員)

- (注) 1. 取締役 高橋昭夫氏、取締役 (監査等委員) 大畠豊氏、井関新吾氏及び清水綾子氏は社外取締役であります。なお、当社は各氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
2. 取締役 (監査等委員) の井関新吾氏は、公認会計士として、会計及び会社経営に関する専門知識と豊富な経験を有しており、これまでの経験に基づき事業の健全性を指導し、経営全般の監視・監督を行っております。
3. 情報収集の充実を図り、内部監査室等との十分な連携を通じて監査の実効性を高め、監査・監督機能を強化するために、大畠豊氏を常勤の監査等委員として選定しております。

② 責任限定契約の内容の概要

当社と取締役（業務執行取締役等であるものを除く。）は、会社法第427条第1項の規定に基づき、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

③ 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、2023年度に同内容で更新する事を予定しております。当該保険により被保険者がその地位に基づいて行った行為（不作為を含む）に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の、法律上の損害賠償金、争訟費用の補償、及び被保険者に対してなされた損害賠償請求により被保険者が被った損害を補償するものです。

この個人被保険者の損害を会社が補償（会社補償）する場合、この会社補償についても補償します。ただし、犯罪行為や法令違反を認識しながら行った行為等一定の事由に対しては補償の対象としないこととしております。

当該保険契約の被保険者は当社取締役及び執行役員並びに当社子会社の取締役等の主要な職務執行者であり、保険料は全額会社負担としております。当社取締役を含む被保険者の各候補者が取締役等に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。

④ 役員の報酬等の決定に関する方針及び決定方法

当社は、役員報酬の決定方針を指名・報酬委員会の審議・答申を経て、取締役会の決議により以下のとおり定めております。

ア. 基本理念

当社は企業理念「一人ひかる 皆ひかる 何もかもひかる」の実現に向けた企業活動を行います。

「一人ひかる」の「一人」とは従業員個人であり、従業員一人ひとりが夢を持ち、明るく前向きにひかり輝く素晴らしい人生を歩めることを大切にします。「皆ひかる」の「皆」とは、全従業員、株主様、お客様、そしてパートナー企業様を指します。「何もかもひかる」の「何もかも」とは社会全体を指し、持続可能な地球環境への配慮はもちろん、人類社会の進歩発展に貢献し、世界中の人々の生活を健康で美しく豊かにすることを目指します。

このような企業理念の実現に向け、役員積極的な挑戦とコーポレート・ガバナンスの向上を促進し事業の持続的成長の原動力となる役員報酬制度であることを目的とします。

イ. 基本報酬を含む報酬等の額の決定に関する方針

役員報酬の水準は、役員報酬の基本理念及び当社の経営における各取締役の役割と責任に基づき設定します。報酬水準の検討に際しては、当社の経営環境や外部調査機関による報酬市場データ（当社と同規模企業群の報酬水準）をもとに分析を行ったうえで、指名・報酬委員会においてその妥当性を検証のうえ設定しています。

当社におけるあらゆるステークホルダーとの意識共有を促し、短期及び中長期の業績向上にバランスよく指向する報酬制度とするため、取締役（社外取締役を除く）の報酬は、基本報酬、業績連動賞与、株式報酬によって構成することとしています。

社外取締役及び監査等委員である取締役については、経営の監督機能という役割と独立性を考慮し、基本報酬のみとしています。

なお、取締役には退職慰労金を支給しません。

基本報酬

基本報酬は取締役の役位、管掌範囲及び職務に応じた適切な水準で設定するとともに、これらに変更もしくは外部環境の変化が生じた場合に、適宜見直しを行うものとします。

基本報酬は毎月現金で支給します。

業績連動賞与

業績連動賞与は短期インセンティブとして位置付け、当社グループの単年度連結売上高、利益の計画達成度及び従業員の業績等を考慮した形で決定し、及び変動報酬の中間値に対して0%（不支給）から200%までの範囲で決定します。

業績連動賞与は毎月現金で支給します。

株式報酬

株式報酬は当社の中長期的な業績と企業価値の持続的な向上、株主の皆様と同じ視点で価値共有を促進することを目的とする長期インセンティブとして、報酬総額の一定割合を譲渡制限付株式（リストラクテッド・ストック）にて支給します。

ウ. 報酬決定のプロセス

当社は、役員報酬の決定方針を、社外取締役（独立役員）を委員長とし社外役員が過半を占める指名・報酬委員会が審議し、取締役会に答申し、取締役会はその答申を尊重して決議することとしています。

この報酬決定方針に基づき、毎年度、指名・報酬委員会で役員報酬体系を検討し、基本報酬、業績連動賞与及び株式報酬の割合と算出方法の妥当性を市場動向等も踏まえて検証することとします。

また、各年度の取締役の報酬も同様に、報酬決定方針に基づき設計された具体的な報酬体系・指標に基づき、指名・報酬委員会の審議・答申のもと、取締役会にて決定することとします。なお、取締役の業績連動賞与算定に必要な業績評価・定性評価等については、指名・報酬委員会が実施することとします。

当事業年度における指名・報酬委員会の構成及び出席状況は以下のとおりであります。

役職名	氏名	出席状況
代表取締役社長	松下 剛	8回（100%）
専務取締役	吉高 信	8回（100%）
社外取締役	高橋 昭夫	8回（100%）
社外取締役	大畠 豊	8回（100%）
社外取締役	清水 綾子	7回（88%）

当事業年度における指名・報酬委員会の活動内容は以下のとおりであります。

開催回	開催日	審議または検討した事項
第1回	2022年10月17日	取締役の選/解任の審議、役員報酬制度の審議等
第2回	2022年11月21日	取締役及び執行役員の報酬に関する諮問への答申決議等
第3回	2023年1月25日	役員制度のうち執行役員に関する制度の審議、役員評価に関する審議等
第4回	2023年2月22日	執行役員の選任に関する審議
第5回	2023年3月22日	役員評価制度改定に関する審議
第6回	2023年5月26日	指名・報酬委員会が議論すべきアジェンダに関する検討
第7回	2023年6月23日	役員報酬及び役員制度の見直しに関する検討
第8回	2023年8月23日	役員報酬及び役員制度の見直しに関する検討

- 工. 当該事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が当該方針に沿うものであると取締役会が判断した理由
 当事業年度における取締役の個人別の報酬等の内容は、役員報酬の決定方針に整合していることを指名・報酬委員会において確認していることから、取締役会として個人別の報酬等の内容が当該方針に沿うものであると判断しております。

役員の報酬限度額について

当社の株主総会の決議による役員の報酬限度額は、2017年3月24日開催の臨時株主総会において、取締役（監査等委員を除く）については、年額500百万円以内、取締役（監査等委員）については、年額100百万円以内と定められております。

⑤ 取締役の報酬等

当事業年度に係る報酬等の総額

区分	報酬等の総額	報酬等の種類別の総額			対象となる 役員の員数
		基本報酬	業績連動報酬等	非金銭報酬等	
取締役（監査等委員を除く） （うち社外取締役）	220百万円 (9)	160百万円 (9)	58百万円 (-)	1百万円 (-)	6名 (1)
取締役（監査等委員） （うち社外取締役）	21 (21)	21 (21)	-	-	3 (3)
合計 （うち社外取締役）	242 (31)	181 (31)	58 (-)	1 (-)	9 (4)

- (注) 1. 取締役の報酬等の額には、上席執行役員の報酬相当額58百万円は含まれておりません。
 2. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
 3. 業績連動報酬等には、第28期事業年度における役員賞与引当金繰入額を記載しております。
 4. 非金銭報酬等の内容は当社の株式であり、割当の条件等は「④役員の報酬等の決定に関する方針及び決定方法」のとおりであります。
 5. 取締役（監査等委員を除く）の報酬限度額は、2017年3月24日開催の臨時株主総会において、年額500百万円以内と決議頂いております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は6名です
 6. 取締役（監査等委員）の報酬限度額は、2017年3月24日開催の臨時株主総会において、年額100百万円以内と決議頂いております。当該株主総会終結時点の監査等委員である取締役の員数は3名です。

⑥ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役 高橋昭夫氏はバイオマス・フューエル株式会社の社外取締役及び鈴木器工株式会社の社外取締役であります。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・取締役（監査等委員）井関新吾氏は、井関公認会計士事務所所長であり、また株式会社井関総合経営センターの代表取締役、金剛株式会社の監査役、株式会社山洋の社外監査役及び株式会社ユニバーサル園芸社の社外取締役（監査等委員）であります。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・取締役（監査等委員）清水綾子氏は、石原総合法律事務所の所属弁護士であり、またシンクレイヤ株式会社の社外取締役（監査等委員）、アイカ工業株式会社の社外取締役、名古屋市情報公開審査会委員、司法委員、名古屋テレビ放送株式会社オンブズ6委員及び愛知県弁護士会紛争解決センターあっせん・仲裁人であります。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

主な発言及び活動状況 (期待される役割に関して行った職務概要を含む)	
取締役 高橋 昭夫	当事業年度に開催された取締役会19回の全てに出席いたしました。豊富な経験と幅広い見識をもとにコーポレート・ガバナンス強化はもとより経営全般について社外取締役として助言・監督を行っております。また、指名・報酬委員会では委員長として論議及び意見形成を推進しております。その他、コンプライアンス委員会及びリスクマネジメント委員会の委員として参加しており取締役会同様に意見を述べております。
取締役（監査等委員） 大畠 豊	当事業年度に開催された取締役会19回及び監査等委員会17回の全てに出席いたしました。取締役会及び監査等委員会において、法務・審査及び企業のリスク管理に関する幅広い知見と経験に基づき発言を行っております。また、常勤の監査等委員として、監視・監督機能の実効性を高め強化するため、社内外の情報収集に努めるとともに、監査等委員会の議長として論議及び意見形成を推進しております。その他、指名・報酬委員会、コンプライアンス委員会及びリスクマネジメント委員会の委員として参加し助言や提言など必要に応じて意見を述べております。
取締役（監査等委員） 井関 新吾	当事業年度に開催された取締役会19回及び監査等委員会17回の全てに出席いたしました。公認会計士の財務及び会計に関する専門的見地に基づき、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。その他、コンプライアンス委員会及びリスクマネジメント委員会の委員として参加しており取締役会同様に意見を述べております。
取締役（監査等委員） 清水 綾子	当事業年度に開催された取締役会19回及び監査等委員会17回の内、取締役会17回及び監査等委員会16回に出席いたしました。弁護士としての法律に関する専門的見地に基づき、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。その他、指名・報酬委員会、コンプライアンス委員会及びリスクマネジメント委員会の委員として参加しており取締役会同様に意見を述べております。

3 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題と認識しており、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を勘案し、利益還元策を決定することを基本方針としております。株主還元については、企業価値向上による株価上昇と剰余金の配当により総合的に実現する方針です。上記の基本方針及び業績の動向等を踏まえ、当連結会計年度の期末配当につきましては、1株当たり10円とすることを2023年11月21日開催の取締役会において決定いたしました。

また、翌連結会計年度の配当につきましては、1株当たり年間10円（期末10円）を予定しております。内部留保金につきましては、市場環境・経済動向・関連法令・その他の事業環境等、当社を取り巻くあらゆる状況を勘案し、財務体質強化や収益基盤の拡大に資する戦略的投資に充て、将来の事業発展を通じて株主へ還元させて頂く方針であります。

当社の剰余金の配当は期末配当の年1回を基本的な方針としており、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる旨を定款に定めております。

また、剰余金の配当基準日は、期末配当は9月30日、中間配当は3月31日とする旨を定款に定めております。

連結計算書類

■ 連結貸借対照表 (2023年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
〔流動資産〕	36,491	〔流動負債〕	11,330
現金及び預金	16,137	支払手形及び買掛金	1,831
受取手形及び売掛金	6,017	未払金	2,012
商品及び製品	10,611	未払法人税等	1,485
原材料及び貯蔵品	744	賞与引当金	595
前払費用	995	役員賞与引当金	71
その他	1,986	製品保証引当金	1,618
貸倒引当金	△1	株主優待引当金	211
〔固定資産〕	17,958	火災損失引当金	124
有形固定資産	10,335	その他	3,380
建物及び構築物	309	〔固定負債〕	406
機械装置及び運搬具	54	その他	406
工具、器具及び備品	715		
土地	8,883	負債合計	11,737
建設仮勘定	307	純資産の部	
その他	65	〔株主資本〕	42,756
無形固定資産	630	資本金	16,778
ソフトウェア	476	資本剰余金	16,160
その他	154	利益剰余金	10,706
投資その他の資産	6,991	自己株式	△889
投資有価証券	3,645	〔その他の包括利益累計額〕	△824
繰延税金資産	2,565	その他有価証券評価差額金	△11
その他	932	為替換算調整勘定	△812
貸倒引当金	△151	〔新株予約権〕	0
		〔非支配株主持分〕	779
資産合計	54,449	純資産合計	42,712
		負債純資産合計	54,449

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書 (2022年10月1日から2023年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額	
〔売上高〕		60,154
〔売上原価〕		23,295
売上総利益		36,859
〔販売費及び一般管理費〕		33,261
営業利益		3,597
〔営業外収益〕		
受取利息及び配当金	19	
為替差益	555	
受取損害賠償金	3	
その他	47	626
〔営業外費用〕		
支払利息	0	
賃貸借契約解約損	12	
固定資産除却損	11	
支払補償費	11	
チャージバック損失	9	
その他	10	55
経常利益		4,168
〔特別利益〕		
固定資産売却益	11	
新株予約権戻入益	3	
受取解決金	163	178
〔特別損失〕		
減損損失	1	
投資有価証券評価損	89	
貸倒引当金繰入額	40	
製品保証引当金繰入額	990	
リコール関連費用	13	
火災損失	162	1,297
税金等調整前当期純利益		3,049
法人税、住民税及び事業税	2,002	
法人税等調整額	△661	1,341
当期純利益		1,708
非支配株主に帰属する当期純損失		△275
親会社株主に帰属する当期純利益		1,984

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

計算書類

■ 貸借対照表 (2023年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
〔流動資産〕	27,652	〔流動負債〕	9,921
現金及び預金	8,710	買掛金	1,331
受取手形及び売掛金	5,846	未払金	2,597
商品及び製品	9,751	未払法人税等	611
原材料及び貯蔵品	717	賞与引当金	421
前払費用	809	役員賞与引当金	70
その他	1,819	製品保証引当金	1,618
貸倒引当金	△1	株主優待引当金	211
〔固定資産〕	21,058	その他	3,058
有形固定資産	10,196	〔固定負債〕	287
建物及び構築物	291	その他	287
機械装置及び運搬具	39		
工具、器具及び備品	683	負債合計	10,209
土地	8,882	純資産の部	
建設仮勘定	295	〔株主資本〕	38,497
その他	3	資本金	16,778
無形固定資産	505	資本剰余金	15,585
ソフトウェア	355	資本準備金	8,859
ソフトウェア仮勘定	149	その他資本剰余金	6,725
その他	0	利益剰余金	7,022
投資その他の資産	10,356	その他利益剰余金	7,022
投資有価証券	374	繰越利益剰余金	7,022
関係会社株式	860	自己株式	△889
その他の関係会社有価証券	3,949	〔評価・換算差額等〕	4
繰延税金資産	2,366	その他有価証券評価差額金	4
関係会社長期貸付金	5,926	〔新株予約権〕	0
その他	904		
貸倒引当金	△4,024	純資産合計	38,501
資産合計	48,710	負債純資産合計	48,710

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書 (2022年10月1日から2023年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
〔売上高〕		57,763
〔売上原価〕		22,241
売上総利益		35,521
〔販売費及び一般管理費〕		33,038
営業利益		2,482
〔営業外収益〕		
受取利息及び配当金	1,050	
為替差益	356	
受取損害賠償金	3	
その他	70	1,480
〔営業外費用〕		
賃貸借契約解約損	12	
固定資産除却損	7	
投資事業組合運用損	279	
貸倒引当金繰入額	766	
その他	23	1,089
経常利益		2,873
〔特別利益〕		
新株予約権戻入益	3	
受取解決金	163	167
〔特別損失〕		
減損損失	136	
関係会社株式評価損	523	
貸倒損失	15	
製品保証引当金繰入額	990	
リコール関連費用	13	1,678
税引前当期純利益		1,361
法人税、住民税及び事業税	794	
法人税等調整額	△532	262
当期純利益		1,099

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2023年11月20日

株式会社MTG
取締役会 御中

PwC京都監査法人 京都事務所
指 定 社 員 公認会計士 柴 田 篤
業 務 執 行 社 員
指 定 社 員 公認会計士 立 石 祐 之
業 務 執 行 社 員

監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社MTGの2022年10月1日から2023年9月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社MTG及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

■ 計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2023年11月20日

株式会社MTG
取締役会 御中

PwC京都監査法人 京都事務所

指 定 社 員	公認会計士	柴 田 篤
業 務 執 行 社 員		
指 定 社 員	公認会計士	立 石 祐 之
業 務 執 行 社 員		

監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社MTGの2022年10月1日から2023年9月30日までの第28期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内

部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

■ 監査等委員会の監査報告

監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2022年10月1日から2023年9月30日までの第28期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- ① 監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部監査部門その他内部統制機能を所管する部署との連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- ② 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及びその理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
- ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。
また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするに当たり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人PwC京都監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人PwC京都監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2023年11月21日

株式会社MTG 監査等委員会
常勤監査等委員 大 畠 豊
監 査 等 委 員 井 関 新 吾
監 査 等 委 員 清 水 綾 子

(注) 監査等委員大畠豊、井関新吾及び清水綾子は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

株主総会会場ご案内図

会場

愛知県名古屋市東区葵3-16-16

ホテルメルパルク名古屋2階 瑞雲の間 電話 (052)937-3535(代)



※駐車場のご用意はございません。ご来場には公共交通機関をご利用下さいませ。



本招集通知は、パソコン・スマートフォンでも主要なコンテンツをご覧いただけます。
<https://p.sokai.jp/7806/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。